

令和5年5月10日

記者発表

# 大阪・関西万博における 和歌山館（仮称）の出展基本方針を決定しました！

2025年大阪・関西万博において、関西広域連合が万博会場内に設置する関西パビリオンのブースの一つとして出展予定の和歌山館（仮称）（面積：251㎡）の出展基本方針を決定しましたので、お知らせします。

## 【出展テーマ】

和歌山百景 ー 霊性の大地 ー

## 【出展の意義】

和歌山県の紀伊山地は、神話の時代から神々が鎮まる特別な場所とされ、寛容の精神を以て、宗教や身分、考え方の違いに関わらず、全てを受け入れ、融合・共存させてきました。

その精神文化は、多様な価値観を尊重し合う「持続可能な世界」を実現する日本的モデルとなり得ると考え、これを展示によって表現します。

## 【展示の構成】

- 和歌山に根づく精神文化から育まれた、自然・人・産業・食・文化などの多様な魅力を「和歌山百景」として表現します。
- 紀伊山地の巨木も彷彿とさせる、そびえ立つ映像のタワー「トーテム」を環状に配置した空間構成で、神聖な空間を演出します。
- 中央ステージでは「和歌山の今を生きる人」に焦点を当て、多様なパフォーマンスを発信します。
- 飲食可能なエリアとしてカウンターバーを設置し、豊かな和歌山の食の魅力も届けます。

※ 詳細別紙参照

《参考》関西パビリオン プレサイト  
<https://future.kouiki-kansai.jp/>



担当者	万博推進課 長谷川・庄司
連絡先	073-441-2702

## テーマ

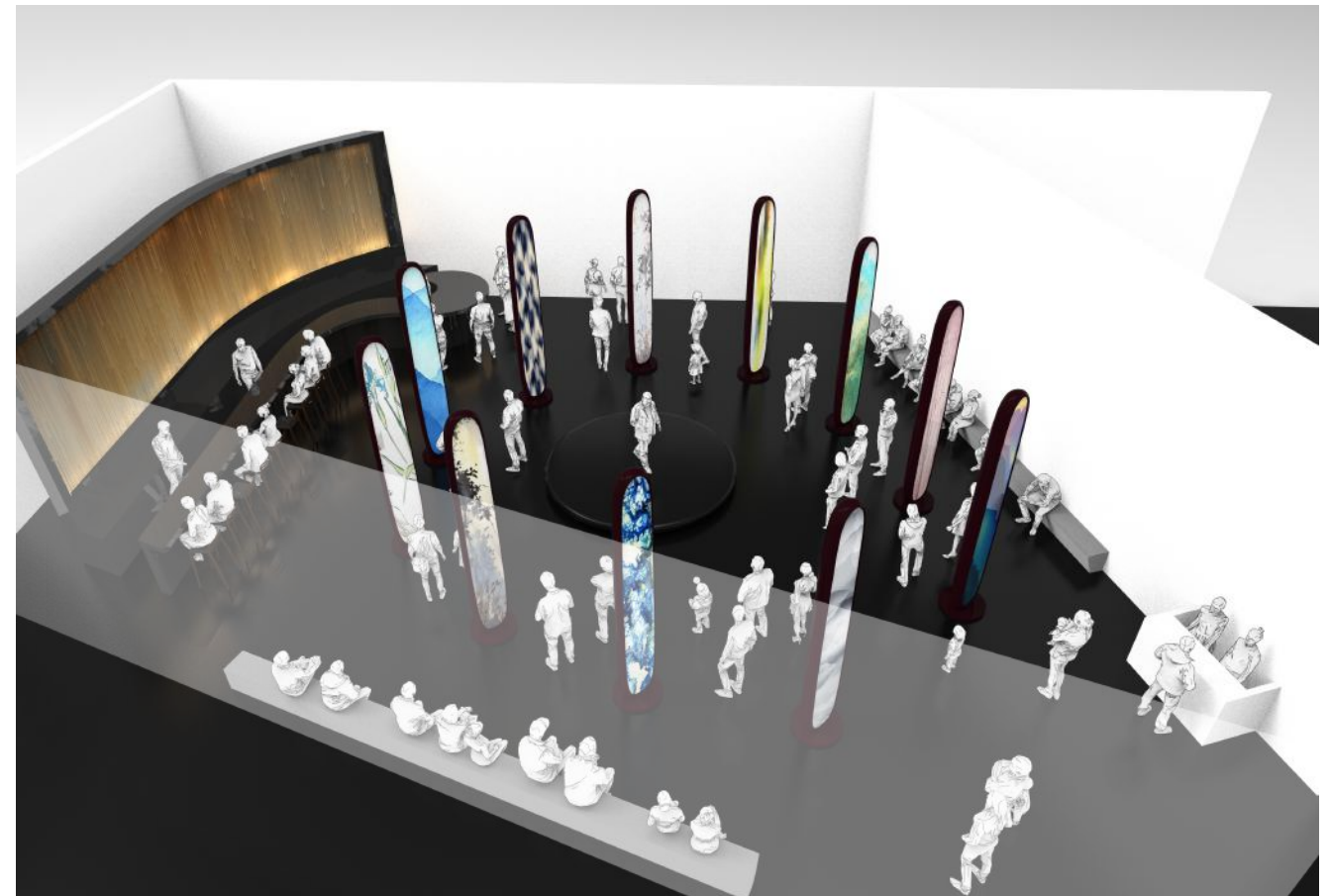
# 和歌山百景 — 霊性の大地 —

## 出展の意義

- 和歌山県の紀伊山地は、神話の時代から神々が鎮まる特別な場所とされ、寛容の精神を以て、宗教や身分、考え方の違いに関わらず、全てを受け入れ、融合・共存させてきました。
- その精神文化は、多様な価値観を尊重し合う「持続可能な世界」を実現する日本的モデルとなり得ると考え、これを展示によって表現します。

## 展示の構成

- 和歌山に根付く精神文化から育まれた、自然・人・産業・食・文化などの多様な魅力を「和歌山百景」として表現します。
- 紀伊山地の巨木も彷彿とさせる、そびえ立つ映像のタワー「トーテム」を環状に配置した空間構成で、神聖な空間を演出します。
- 中央ステージでは「和歌山の今を生きる人」に焦点を当て、多様なパフォーマンスを発信します。
- 飲食可能なエリアとしてカウンターバーを設置し、豊かな和歌山の食の魅力も届けます。



# 大阪・関西万博 和歌山館（仮称） 出展の概要



## 映像タワー「トーテム」

和歌山各地の美しい自然風景や神話と歴史に因んだシーンなど「和歌山百景」をアートとして表現し、映像化していきます。

アートの映像は、写実とはまた違った魅力で想像を促し、深淵に和歌山の魅力を伝えます。



## ステージ

中央に配置したステージでは、和歌山の今を生きる人たちが、トーテムの映像と連携しながらパフォーマンスを行います。

和歌山の伝統芸能や県内産業の魅力を、それを実践する「人」を通して発信します。



## カウンターバー

落ち着いた空間を演出し、視覚からも和歌山の食を楽しんでもらえるように、工夫を凝らしたディスプレイを設置します。

美味しいだけでなく、芸術的な演出を含め感動してもらえる食を提供します。